

# 羅針盤

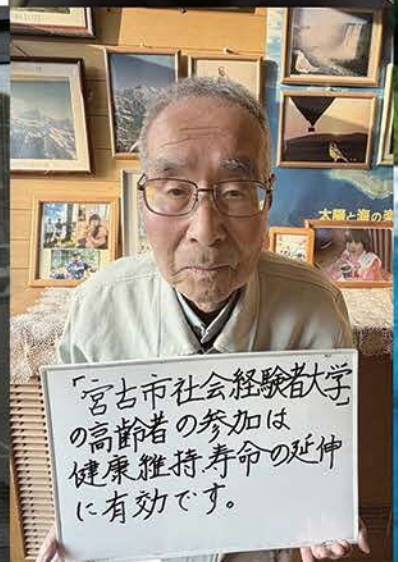
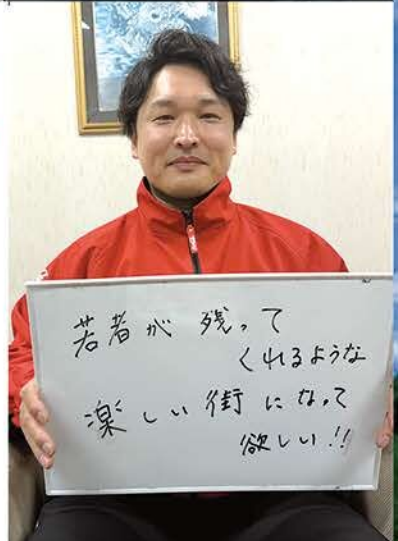
らしんばん

2026

令和8年

3月議会

No.84



目次

3月定例会議…2p	補正予算審査…5p	令和8年度予算審査…6p	議案審査概要…9p	一般質問…11p
かだつとがんせ市民の声…16p	政策提言…18p	議会モニター…19p	編集後記…19p	みんなのラウンジ…20p

# 3月 定例会議

## 令和8年度当初予算など 56議案を可決

### 宮古市議会3月定例会議で可決された 主な条例・議案などの概要

#### 3月の定例会議

2月13日～3月18日  
34日間

予算	24件
条例	17件
発議案	1件
その他の議案	14件
諮問	1件
一般質問	9人

### 56議案を審議

令和8年3月定例会議は、2月13日から3月18日までの34日間の会議日程で行われ、会期中の本会議日数は4日間でした。

議案の内容は「令和8年度宮古市一般会計予算」など、当初予算に関するものが13件、「令和7年度宮古市一般会計補正予算」などの補正予算に関するもの11件、「宮古市診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」などの条例が17件、「公の施設の指定管理者の指定に関する議決を定めることについて」など、その他の議案が14件、発議案1件が審議され、諮問1件を答申しました。

### 一般質問は 2日間

一般質問は、2月27日、3月2日の2日間行われ、9人の議員が登壇し、市政の重要課題について質問などを行いました。

### 令和8年度 当初予算

令和8年度宮古市一般会計予算は、宮古駅前エリアの再整備に3057万円、企業誘致・立地企業支援に8417万円、学校給食費無償化など子育て環境の充実に5億4479万0000円（前年度当初比5.4%増）が計上されました。

特別会計においては、令和8年度宮古市国民健康保険事業勘定特別会計予算が、54億2744万3千円、令和8年度宮古市介護保険事業特別会計予算が2億75万6千円、計上され特別会計全体は、132億968万2千円（前年度比1.3%増）となりました。

### 主な事業を紹介します

つくり育てる漁業の推進  
1,156万円

産前産後のサポート、産後ケア事業  
5,892万円

旧キャトル店舗の解体工事  
4億4,923万円

創エネ、蓄エネの導入拡大  
2億5,800万円

津波避難対策緊急事業  
1,400万円

#### 指定管理の指定存続が認定された主な施設

- 地域創生センター
- 三陸NPO支援センター
- 総合福祉センター
- 宮古市社会福祉協議会
- 津軽石保育所
- 社会福祉法人 慈愛会

#### 近内介護予防拠点施設

- 医療法人 仁泉会
- 高齢者生活福祉センター
- 宮古市社会福祉協議会
- リバーパークにいさと
- 株式会社新里産業開発公社
- 地域農産物等活用型総合交流促進施設（やまびこ館）
- 株式会社川井産業振興公社

## 令和8年度宮古市 経営方針・教育行政方針 が示される



### 改正が可決 された条例

3月定例会議で可決された条例の一部をお知らせします。

#### 宮古市介護保険条例の二部を改正する条例

宮古市介護保険条例に定めている在宅ねたきり老人等介護用品給付費の支給に加えて、介護通院助成費の支給を実施するものです。

#### 宮古市国民健康保険診療所条例

宮古市国民健康保険田老診療所、新里診療所、川井診療所、川井歯科診療所条例を統合して、診療所の運営を一元化するものです。

#### 宮古市火入れに関する条例の二部を改正する条例

宮古市火入れに関する条例において、火入れ中止の要件に林野火災に関する注意報が発令された場合を追加するものです。

## 令和8年度は「未来を創る」ための挑戦の年

重点施策の一つに地域産業の振興をあげ、地域資源を活かした産業の振興と事業者の挑戦を後押しする環境づくりに取り組む。「つくり育てる漁業」による持続可能な水産業を目指し、官民連携して力強く取り組む。

二つ目はひと・地域を育てる環境の充実のため、多くの若者が、未来の地域づくりの主役として羽ばたくため、支え合い、協働し、ともに課題に向き合う環境を創ることが、未来への確かな一歩となる。

三つ目は賑わいのある中心市街地の形成であり、空き店舗を活用した社会実験を実施し、整備内容を見極めつつ、市と協働してまちづくりを担う「プレイヤー」となる民間事業者を見出す。

四つ目は地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大。市民に分かりやすく示しながら「省エネ」・「再エネ」・「蓄エネ」の導入を推進する。

五つ目は積極的、効率的な行財政運営。事務事業の見直しと効率化で限られた財源を「選択と集中」により、政策を推進する。

行政は、「水を運ぶ人」となり、誰かのために汗をかく存在として、市民の挑戦をサポートし、未来を創るための土台作りを進める。

## 令和7年度 一般会計・特別会計補正予算を可決

令和7年度宮古市一般会計補正予算及び特別会計補正予算は、各種事業の実績見込み額が提示され、その結果、最終的に増額されたもの、減額されたものそれぞれが示されました。下の表に載せた事業例は、予算額が増額になったもの、あるいは、新設されたものの中から主な事業を掲載しました。

令和7年度宮古市一般会計予算は、

歳入歳出予算の総額が **403億8,487万9千円** となりました。

### 令和7年度主な事業（一般会計）

事業名	補正前の額 補正額 補正後の額	事業内容
<b>施設型給付費等支給事業</b> 私立保育所入所児童委託料等	9億9,473万円 5,940万円 UP↑ <b>10億5,414万円</b>	私立保育所入所児童委託事業・施設型給付費給付事業の2つの事業における公定価格の増額改定による増額
<b>保育所運営事業</b> 保育所指定管理料	9億2,041万円 792万円 UP↑ <b>9億2,834万円</b>	保育所指定管理料(津軽石保育所・花輪保育所)の公定価格の増額改定に伴う増額
<b>(仮称)寺ヶ沢中谷地線道路整備</b>	0万円 3,000万円 NEW! <b>3,000万円</b>	(仮称)寺ヶ沢中谷地線道路整備事業の実施 工業団地アクセス道整備に係る設計業務委託料
<b>地域生活支援事業</b> 日中一時支援給付費等	1億3,121万円 300万円 UP↑ <b>1億3,421万円</b>	障害者日常生活用具給付費、日中一時支援事業給付費の実績見込み額が予算額を上回ることによる増額
<b>国民健康保険診療施設勘定特別会計繰出金</b>	1億6,119万円 2,947万円 UP↑ <b>1億9,066万円</b>	国民健康保険診療施設勘定特別会計決算見込みによる繰出金の増額(田老・新里(医科)・川井の各診療所)
<b>国土調査事業</b>	2億4,740万円 569万円 UP↑ <b>2億5,310万円</b>	地籍調査費の国の補正に伴う予算増額
<b>崎山松月線道路改良事業</b>	2億1,116万円 3,352万円 UP↑ <b>2億4,468万円</b>	事業の進捗を図るため、国庫支出金の追加交付を要望し追加交付が決定したことによる増額計上

\*表中の予算額は、1万円未満の端数を切り捨て処理したものです。

## 教育行政方針

学校教育の充実においては、学習指導要領において求められている資質・能力の育成に向けて、「確かな学力」・「豊かな心」・「健康な体」の調和のとれた生きる力を育む教育を推進する。

生涯学習の推進においては、市民が生涯にわたって「いつでも・どこでも・だれでも」多様な方法で学習の機会を選択して学び、社会に対応するための活動支援と生涯学習環境づくりを関係団体との連携・協働により進め

スポーツ・レクリエーションの振興においては、市民が健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができるよう、いつでも気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組むことができる環境づくりを進める。

文化の振興においては、広く市民が芸術文化に親しむことができるよう芸術文化事業の充実を図るとともに、多様な文化財を次世代に継承するための取り組みを進める。

結びに本市の小中学校では、児童生徒が持続可能な社会の創り手として、自分らしく幸せな人生を主体的に歩んでいけるよう「自立」の基礎を養っていく。「みんなが宮古の未来を創る」理念のもと、子どもたちが地域社会の主角に成長していくことを切に願い、一層の教育の充実を図る。

**特筆話題!**

「企業版ふるさと納税約1,000万円」  
「ふるさと納税約32億円」  
過去最高を更新  
「ネーミングライツ事業」  
令和8年4月1日  
**東北ヒロセシーアリーナ**

の愛称が誕生!  
さらなる自主財源の確保に努め、  
選ばれるまちに発展していく!

# 一般会計歳出

## 三陸鉄道経営強化支援等事業

**問** 三陸鉄道の施設整備等と利用促進のため三陸鉄道株式会社に対して支援を行うとあるが、三陸鉄道としても新しい視点で鉄道を残していくための努力が必要だと思いませんか。

**答** 三陸鉄道においては現段階の乗車数などはまだ厳しい現状にあるが、三陸鉄道強化促進負担金を活用し宣伝周知や、PR活動、イベント列車の運行などを計画実行するものとなっている。

## 地域イベント推進事業

**問** 地域イベント推進事業で地域活性化のために地域が独自に開催するイベント等の取り組みを支援するところがあるが支援対象となる基準は。

**答** 地域イベント推進事業の補助としてはそれぞれの成り立ちに歴史がある事業などが対象となっており、そのほかの事業体やイベント等の支援に関しては、元気な地域づくり補助金などの活用を促したい。

## 地域振興事業

**問** 元気な地域づくり補助金の応募件数、採択件数の詳細は。

**答** 7年度から新たにスタートした補助金の内訳は二種類あり、上限金額が20万円のタイプは14件、上限金額が150万円のタイプは7件の応募があり、全件採択となっている。

## シティプロモーション推進事業

**問** シティプロモーション推進事業について、市のシティプロモーションのホームページを確認すると2025年6月が最後の更新のようだが、どの程度の頻度で更新するのか。

**答** シティプロモーションのサイトなどは新たな基準が出る都度更新を行っており、市でも様々な情報に対し新たな情報が掲載できる都度更新をしている。

## 男女共同参画推進事業

**問** 男女共同参画推進事業の事業費が前年1696万円から新年度は2958万円と大きく増額になっているが、重点的な取り組みとは何かがあるのか。

**答** 増額のうちほとんどが人件費等の経費となっている。研修の部分では新年度予算に48万円ほど計上している。

## へき地患者輸送事業

**問** どのルートで患者を医療機関まで輸送しているのか。

**答** へき地患者輸送事業では二つのルートがあり、一つは週に2度、北川目・南川目地区から宮古駅前を経由して宮古病院まで、もう一つは月に1度、重茂漁協敷地にある重茂診療所に来る患者の送迎として運行している。

## 成人健康診査事業

**問** 令和8年度の受診者を増やすための取り組みは。

**答** 令和7年度は予約制の拡大を行ってきた。また、女性の検診である乳がん検診、子宮がん検診の同日実施にも取り組み、受診者が増えているので継続して行っていく。

## 海業振興支援事業

**問** これは新規の事業と捉えるが、具体的な中身の説明を求め。

**答** これは、国の10割補助事業であり、今までは海業という形での事業を行なってきたこともあり、今回導入したものである。今回、検討している中身については、重茂の体験施設を利用して、ウニを採る作業から焼きウニを作るまでの一連の流れを体験ツアーとしてツアー会社に委託し、それを漁協等が支援するという取り組みである。



宮古地区患者輸送バス

## 水産課長

**問**

**答**

## 公営住宅管理事務

**問** 市外の大手の業者に指定管理を行って現在の現状をどう考えるか。

**答** 現在のところ、資格の関係で市内の業者からは提案、申請はない。また、業務管理者になるための資格は主なものとして二つ、賃貸不動産の経営管理士と、宅地建物取引士である。



田老災害公営住宅

## 消防団事務

**問** 防火衣一式の66着は5か年計画でどうなるか。

**答** 1台のポンプ車につき5着、現団員数の3割を目安に整備していく。5か年で330着を予定している。

## 学校維持管理事業

**問** 手押し式草刈機48万円と自走式草刈機100万円の2機種の違いと使用の違いは。

**答** 閉校した施設等で体育館等が避難所になっている学校は教育委員会が管理している。手押し式草刈機は軽トラックに積んで別の場所で利用が可能なのが利点の一つとなる。自走式草刈機は学校の要望を聞き用務員の配置数や、校庭の大きさなどを見分け、導入、使用していく。

# 一般会計歳入

## 固定資産税について

**問** 令和7年度の固定資産税が1億円ほど増えた理由は。

**答** 大規模な病院の移転と、スーパーマーケット等の商業施設の新築による。

# 予算特別委員会報告 令和8年度予算審査



## 自然公園等管理事業

**問** タイムグラの観光施設指定管理料に435万5千円が計上されていることについて、直近の利用人数や利用金額はどのようになっているのか。

**答** 令和6年度の実績で、キャンプ場利用者3945人、収入で119万2350円、令和7年度は、利用人数2115人、収入で194万2750円となっている。令和7年度、キャンプ料金の改定をしたことにより、利用人数は減少しているが収入は増加している。

## 防災学習ツアー促進事業

**問** 東日本大震災から15年が経過し、利用客が減少しているように思われる。しかし、この事業は大変重要なものであることから、本市では現状と課題についてどのように捉えているのか。

**答** 観光課長  
利用実績としては、令和6年度1万1831人、令和5年度1万4013人と約3000人ほど減少している。震災から15年が経ち、年々防災に対する意識が薄くなっている感はある。しかし、防災学習は非常に大事なことであり、ことから、自分の命は自分で守るんだということから、発信して誘客に努めていく。また、昨年6月にオープンした災害資料伝承館との連携も進めていきたい。



災害資料伝承館

## 宮古駅前エリア再整備事業

**問** 社会実験にかかわる建物賃借、室内遊具賃借、光熱水費等の計上とみてよいか。

**答** 都市計画課長  
市が委託者を探してその方に運用、運営をしてもらうという考えだ。空き店舗の管理等を通じて、その事業等の運営や、まちづくりに興味を持ってもらい、段階的に育成につなげていく。

### 比較

対令和7年度

**+18億** **+5.4%**  
7,900万円

**+1億** **+1.3%**  
7,465万9千円

**+5億** **+10.9%**  
8,543万8千円

**+26億** **+5.0%**  
3,909万7千円

令和7年度

**349億**  
円

**130億**  
3,502万3千円

**53億**  
6,323万6千円

**532億**  
9,825万9千円

### 令和8年度

一般会計 **367億**  
7,900万円

特別会計 **132億**  
968万2千円

公営企業会計 **59億**  
4,867万4千円

**合計 559億**  
3,735万6千円

重点事業 事業名 予算 事業内容



1 つくり育てる漁業の推進 **1,156万円**

・トラウトサーモン増産や、商品のブランド化に向け官民連携

クルーズ船寄港を活かした地域産業活性化 **6,681万円**

・過去最多の25回寄港予定  
・クルーズ船寄港への受入れ体制の整備、観光消費等の拡大

企業誘致の推進・企業立地の支援 **8,417万円**

・企業訪問や企業立地フェアによる企業誘致の推進  
・企業立地補助金や人材育成支援による立地企業の支援

スポーツを軸とした地域の魅力発信 **4,431万円**

・スポーツ合宿や県大会・東北大会などの誘致  
・第40回記念大会となる宮古サーモン・ハーフマラソンの開催



2 新たな担い手の育成を応援 **2,138万円**

・「元気な地域づくり補助金」や「生きる力を育む事業補助金」により住民主体の取り組みや、児童生徒の学びを応援  
・自治組織や市民活動団体の活動を支援、協働によるまちづくりを推進

安心して子どもを産めるまちへ **5,892万円**

・個別健康相談などによる産前・産後のサポート  
・通所型、訪問型による産後ケアを実施

子育て環境の充実 **5億4,464万円**

・在宅子育て世帯への支援金  
・市独自の幼児教育・保育の無償化  
・小中学生の学校給食費の完全無償化  
・高校生までの医療給付



3 旧キャトル店舗の解体 **4億4,923万円**

・令和7年度から引き続き解体工事を実施(R7.10月~R8.11月)

新規事業 宮古駅前エリアの再整備に向けて **3,057万円**

・中心市街地の空き店舗を活用した社会実験  
・宮古駅前エリア再整備に向けた事前調査  
・中心市街地活性化イベントなどによる賑わい創出  
・市と協働してまちづくりを担うプレイヤーの発掘

事業承継や新規創業の支援 **450万円**

・商業振興対策事業費補助金で新規創業者を支援  
・次世代経営者の育成支援



4 省エネ化の推進 **3,080万円**

・無料省エネ診断の実施  
・住宅の高効率機器更新や断熱リフォームの補助

創エネ(再エネ)蓄エネの導入拡大 **2億5,800万円**

・住宅等太陽光発電・蓄電池導入の補助  
・公共施設への太陽光発電設備の導入推進

E V化の推進 **515万円**

・市民・事業者向け電気自動車導入の補助  
・公用車のE V化

# 議案審査概要

今定例会議で各常任委員会に付託された議案の審査概要をお知らせします。

## 総務常任委員会

### 議案第41号

公の施設の指定管理者の指定に関する議決を求めることについて

5年間、三陸NPO支援センターが地域創生センターの指定管理者を担ってきたわけだが、この間の指定管理者としての市の評価を伺う。

企画課長

施設の管理運営を非常に効果的、効率的に行うということで、利用者からアンケートをとり、ニーズを把握しながら改善に努めている。利用者数も年々増加傾向にあり、一人ひとりの利用者へ寄り添ったサービスを提供していると評価している。今後ともこれまでの経験を生かして、様々な利用者のニーズを把握しながら、管理を進めていただけるものと考えている。



地域創生センター(うみマチひろば)

### 議案第49号

川内辺地に係る総合整備計画を要するることに関し議決を求めることについて

観光・レクリエーション施設とはどこなのか伺う。

企画課長

道の駅やまびこ館である。

問

事業費が当初から倍に増額されているが、この理由は。

企画課長

施設の増額の部分であり、今回、浄化槽を改修したいということで変更するものである。

問

農道及び林道の事業費が当初の4倍になっているが、箇所数が増えたのか、あるいは資材費の高騰なのか、増額の理由を伺う。

企画課長

林道鬼米内線の橋梁工事であり、令和7年度の詳細設計によって資材費の高騰のほか、PCB塗料の処理費が追加となり、事業費が増額になったものである。



橋梁工事が行われる林道鬼米内線

### 議案第50号

夏屋辺地に係る総合整備計画を要するることに関し議決を求めることについて

問

事業費の増額理由を伺う。

問

市道の補修に係る事業費を増額とあるが、詳しい理由を伺う。

川井総合事務所長

市道・橋梁については、市道繋桐内線を新たに追加したものである。

## 教育民生常任委員会

### 議案第28号

宮古市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問

宮古市に限らず、事業所における虐待が増えていることから、宮古市も同様に条例として制定するということが。

子ども家庭センター所長

「虐待行為をやってはならない」という規定は以前からある。今までは児童福祉法を参照していたが、別の法令を参照するものであり、法の改正に基づく条例改正である。

### 議案第29号

宮古市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

#### 問

改正後の施設に入る前に健康診断を受けている子どもや乳幼児については施設に入った時には健康診断はしないということか。

子ども家庭センター所長

そのとおり。しないことができるという規定だが、今後医師会とも相談しながら進めていきたい。

### 産業建設常任委員会

### 議案第34号

地方卸売市場宮古市魚市場業務条例の一部を改正する条例

#### 問

改正後の第34条で公表が義務付けられている指定食料品等とはどのようなものか。

水産課長

現時点で国等が指定しているのは米、野菜、豆腐、納豆、牛乳などであり、魚も追加されるかどうかは情報収集中である。今回の改正は地方卸売市場の認定のための法改正に対応したものである。

### 議案第35号

宮古市火入れに関する条例の一部を改正する条例

#### 問

今回の改正は山林火災が多発していることを背景に、周知徹底のため文言を明確にする目的での改正か。

農林課長

今回の改正は条文を整理し、林野火災注意報等の発令時火入れの中止要件に加えたものである。



令和6年4月に川屋地区で発生した林野火災

### 議案第36号

宮古道路占用料徴収条例及び宮古市都市下水路条例の一部を改正する条例

#### 問

占用料のほとんどが値上げされている中で、広告塔などで値下げされているものもあるが、値下げになった理由はなにか。

建設課長

占用料は電柱や電話柱が主で、道路価格に造成費などを加味して

# 一般質問 市政を問う



一般質問の内容を動画でご覧いただけます

## ここが聞きたい!

- ▶ 非核三原則を根本に平和思想を広げる運動について
- ▶ 多文化共生の推進について

小島直也 議員・公明党 ▼11ページ

- ▶ 経営方針について

高橋秀正 議員・みやこ未来創造クラブ ▼12ページ

- ▶ 令和8年度宮古市経営方針について
- ▶ 東日本大震災被災者の「こころのケア等」支援継続について

竹花邦彦 議員・立憲・市民クラブ ▼12ページ

- ▶ 令和8年度宮古市経営方針について
- ▶ 合併の検証と地域内分権について
- ▶ 公共交通空白地区の解消について

松本尚美 議員・無所属クラブ ▼13ページ

- ▶ 外国人材受け入れ支援制度構築について

西村昭二 議員・みやこ未来創造クラブ ▼13ページ

- ▶ 多様な産業が結びつき強く活動するまちづくりと地域産業の振興における強くなやかな産業について
- ▶ つくり育てる漁業について
- ▶ ひと・地域を育てる環境の充実について

落合久三 議員・日本共産党 ▼14ページ

- ▶ 「森・川・海」とひととの共生の着実な展開について

水木高志 議員・みやこ未来推進クラブ ▼14ページ

- ▶ これからの協働について
- ▶ 廃校活用について
- ▶ 豊かな心をはぐくむ教育について
- ▶ カッターレースによるスポーツ・レクリエーションの振興について

白石雅一 議員・みやこ未来推進クラブ ▼15ページ

- ▶ 新年度、本市の経営方針について

田中尚 議員・日本共産党 ▼15ページ

算定しており、造成費の分で値上げしている。一方、旗竿(はたざお)や看板・広告塔は繁華街や商業地に設置されている性質上、造成費を加味せず土地価格のみで算定しているため、値下げとなっている。

### 議案第39号

宮古市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例

#### 問

宮古市風致地区に指定されている具体的な場所はどこか。

都市計画課長

良好な環境や自然景観を維持、保全するために指定された区域である。具体的には浄土ヶ浜の付近一帯と大沢海岸までの海岸部で、区域は1種から4種までであるが、それぞれ設定されている区域となる。



多くの観光客が訪れている浄土ヶ浜

非核三原則を根本に平和思想を広げる運動について

戦没者追悼式を核に平和を未来へつなぐ意識の醸成を図る

#### 市長

地球上の国々で繰り返されている惨状に心を寄せて、ともに考える平和教育の必要性はないか。本市の今後の平和教育の方向性は。

#### 市長

子どもたちが歴史の教訓を正しく理解できるよう努め、未来に向けて平和を創造し続ける「平和の担い手」として成長できるように、学習指導要領の趣旨を踏まえ、平和教育の充実に取り組み。

#### 市長

市民へのアンケート調査に、非核平和都市宣言について尋ねる必要があるのでは。

#### 市長

市の「非核平和都市宣言」への是非や意見の把握については、現段階では求める状況にはない。

#### 多文化共生の推進について

これからの宮古市は、先細りする産業経済において、外国人の就労者に頼るときが来ると思われる。育成就業制度の導入により、増加が見込まれる外国人材の受け入れに際し、支援を必要としている企業の把握はできているか。また、技術指導などの支援体制は構築されているか。

#### 市長

市内では外国人労働者を雇用している事業者は16社。今後も雇用していきたいとのこと。受け入れに際し、行政機関に望む支援として、「日本語習得支援」や「事業所向け相談窓口の設置」「日本の生活文化を伝えるセミナーの開催」などがある。

#### 市長

多文化共生を推進するにあたり本市の課題はあるか。外国人の孤立を防ぐための取り組みはできているか。宮古市国際交流協会と連携し、「宮古市外国人相談窓口」の管理運営や日本語教室「さくら」、多文化体験イベントを実施しているが時間が合わないなどの問題がある。外国人の孤立については、寛容な姿勢で接していく考えを市民や地域に広げていくことが大事と考える。



未来の宝にのこしたい平和な社会

小島直也 議員 公明党



## 宮古市議会の情報をリアルタイムで!

インターネット中継

本会議は生中継(ライブ配信)しています。録画中継は、本会議のおおむね5日後(土日祝を除く)から配信いたします。(パソコン、スマートフォン、タブレット端末に対応)

フェイスブック

宮古市議会のホームページのリンクをクリックしてご覧ください。

みやこハーバーラジオ 82.6MHz

定例会議開催中の午前8時10分ころから放送です。

### 次回6月定例会議

6月上旬の開催予定です。会議日程が決まり次第、宮古市議会のホームページに掲載します。詳しくは議会事務局におたずねください。 ☎68-9113 Mail : gikai@city.miyako.iwate.jp



市議会HPのトップページ

**Q** 宮古短大裏、金浜地区産業用地の展開は

**A** 企業からの要望に迅速に対応していく

**市長** 宮古短大裏の産業用地、金浜地区産業用地は企業の立地も未だ決まっておらず厳しい状況にある。市の具体策はどのようなものがあるのか。市内企業には安全な場所への移転を検討している企業が複数ある。そのようなことで宮古短大裏の産業用地は民間企業と協働で整備に取り組んでいく。金浜産業用地に関しては、立地実現に向け貸付価格を引き下げるなどの対応を行い、セミナーなどを開催し、企業からの要望に迅速に対応していく。



高橋 秀正 議員  
みやこ未来創造クラブ

**市長** 市の道路整備事業は、市内中心部から離れた地域の整備を重視しているように感じる。中心部にも整備が必要な箇所が多いが市の今後の対応は

**市長** 舗装修繕箇所の選定は、中心部・郊外部といった地理的条件で決めていない。道路の安全性の確保と利用実態を最優先に客観的な基準に基づき総合的に判断している。今後も安全性・利用実態・財源の三要素を勘案し、安全確保最優先に効率的かつ計画的に進める。



宮古短大裏産業用地

**Q** 旧キャトル跡地の再整備はエリアを限定すべき

**A** エリアや内容、事業手法は今後の検討事項である

**市長** 旧キャトル、民間駐車場、旧セキカワ、立体駐車場エリアを組合方式での再開発は断念し、宮古駅、バスターミナル、イベント広場を含めたエリアを再整備するの方針転換はやむなしと考えるが、旧キャトル跡地、宮古駅、イベント広場にエリアを限定すべきと考える。市長の所見を伺う。



松本 尚美 議員  
無所属クラブ

**Q** 旧キャトル跡地の再整備について

**市長** 川井、新里、田老地区が優先され宮古地区の解消が進んでいない。議会から強く地区要望を伝えた結果、箱石地区のデマンドタクシー導入案が示された。その他必要な地区はまだあり、通院、買物等の移動手段に困っている高額な負担を負う市民が少なからずおり、声を出せずに我慢を強いられている。アウトリーチで公平に手を差し伸べるべきである。

**Q** 総合事務所の強化

**市長** 地域住民から合併しなければ良かった、予算も減らされて地域の事業が出来ない、役場が縮小し、学校、保育所がなくなる、見放され、空家だらけとの声を聞く。現状の取り組みで地域が活性化し、持続可能な地域となると考えているか。



解体工事が行われている旧キャトル

**Q** 外国クルーズ客船寄港の市内経済波及効果拡大の取り組みを

**A** 経済効果は2億1千万円以上と推計 拡大に向け新企画等を展開

**市長** 本年度のクルーズ客船寄港による本市経済の波及効果はどうか。今後の取り組みを伺う。本年度のクルーズ客船寄港による本市経済の波及効果はどうか。今後の取り組みを伺う。



竹花 邦彦 議員  
立憲市民クラブ

**市長** 市は旧キャトル跡地整備事業について、宮古駅前を含むエリア整備の見直し方針を示した。また、中心市街地の賑わい創出に向け、空き店舗活用

**市長** 被災者支援総合交付金を活用した取り組みは終了するが、このころのケアや高齢化等に伴う多様な相談支援は、継続して取り組むべき重要な課題だと認識している。引き続き被災者に寄り添い、必要な支援を行っていく。



望まれるクルーズ客船寄港による市内経済への波及効果拡大

**Q** 外国人材受入れ支援制度の構築は

**A** 国・県制度の動向を注視し 適時に支援を実施

**市長** 市内中小企業ではハローワーク等に求人を出しても人材確保が難しく、介護だけでなく製造・建設でも生産やサービス維持のため人手確保が急務である。外国人材の受入れは有効策だが、導入時の手続・研修・住居準備などの初期費用、受入れ後の支援委託や生活支援など月額費用が大きな負担となる。市が掲げる「国籍等に関係なく多様な人材が自己を表現できるまち」の方針や、国際交流協会・地域と連携した受入れ支援の実績を踏まえ、産業横断の実態把握と課題整理、相談から定着までのワンストップ体制、初期費用・月額費用助成を含む「受入れ支援パッケージ」の創設をするべきかどうか。



西村 昭二 議員  
みやこ未来創造クラブ

**市長** 令和7年9月、受入れ可能業種112社に雇用状況調査を行い73社が回答。16社が雇用中で15社が継続意向。雇用実績なし等57社では15社が今後検討、41社は検討せず。理由は「日本人だけで維持できる」「言語面の不安」「教育・研修に時間を要する」などが多い。

**市長** 費用面は国の人材確保等支援助成金、市の職場環境改善推進事業費補助金の周知を継続し、令和9年4月予定の育成就労制度など国県施策の動向を注視し、適切なタイミングで有効な事業者支援を行い、定着につなげる。



楽しそうに働く外国人技能実習生

### 国家資格取得に市の支援策を

現行の体制で充足している

経営方針の中で「強くしなやかな産業構造の構築」「自立的な地域経済の創出」が掲げられたが、言わんとするポイントはなにか。また、建設業が抱える人材不足解消、技術者育成等のため市として国家資格取得の一助として講習会開催等を検討しては。

建設業の資格は多岐にわたり、高度な専門性を要し、専門機関において講習、試験対策が行われており、現行の体制で充足していると考えている。

### ▼資材高騰への支援の検討を

岩手県わかめの生産額は日本一でその主な生産地は宮古である。令和6年度わかめ、こんぶの生産数量は年7,000トン、金額で20億円、トロールの水揚げに匹敵する。しかし、担い手の高齢化、資材高騰などから非常に厳しい状況だ。資材高騰の支援も検討すべきだ。

本市ではわかめこんぶの養殖施設は各漁協が国庫補助金を活用し共同利用施設として整備している。組合員は漁協に利用料を払い、施設を借り受けることにより少ない負担で養殖施設を利用している。新規就業者に対しては、施設や機械整備に係る経費に対し、100万円を上限に3分の2以内の補助をしている。本市のわかめ、昆布の養殖は水揚げ金額も多く、安定した収入を見込むことができることから、非常に重要な漁業で、引き続き支援していく。

宮古市の子育て支援は国よりも早く、また県内市町村に先駆けて実施してきた。保育料、学校給食費、18歳以下の児童生徒の医療費窓口負担の無償化、国保のこども均等割りの無償化がその代表例である。しかしこうした施策が出生率の向上や、少子高齢化防止に寄与していると言いがどうとらえるか。

都市部への人口集中、賃金水準や地域とのつながり、子育ての負担感など複合的な要因で形成されており、より広い視点から「住み続けたいと思えるまち」をめざしていく。

### 全国水産・海洋高等学校カッターレース大会を誘致できないか

課題はあるが宮古港カッターレース大会実行委員会などと協議する

### ▼カッターレースによるスポーツ・レクリエーションの振興について

教育行政方針のスポーツ・レクリエーションの振興に「みやこスポーツコミッション」連絡会議と連携して、スポーツ合宿・大会の誘致に取り組み、交流人口の拡大を図っていくとあり、様々な誘致の可能性があると捉える。本市は、海の宮古港カッターレースが多く市民参加のもと開催されており、全国のカッター部を持つ大学や高校もエントリーしている。

このカッターレースは全国の水産・海洋高等学校でも持ち回りの会場で大会が開催され、200人以上の生徒が参加している。本市の大会開催の経験を活かし、全国水産・海洋高等学校カッターレース大会を誘致できないか。

### 教育長

海の宮古港カッターレースは宮古港で大型9mカッターで300m折返し、600mのコースをとり、20を超える参加チーム数で、東日本大震災後は北海道や富山・青森などの県外チームもある。提案の全国水産海洋高等学校カッターレース大会は全国水産海洋高等学校協会が主催し、開催地の水産高等学校が主催校となり、今年度は京都府宮津市で開催され全国から12校が参加した。大会は500m折返し1000mコースで行われるため本市のレース会場ではコース距離の不足が懸念される。

また、練習日を含めて3日間の確保が必要であり開催会場を新たに選定することも考えられる。宮古水産高等学校とも協議したが、運営を担当できる職員や生徒が少ないことから、主管校として運営はできないとのこと。大会誘致についてはこれらのことを踏まえ、宮古港カッターレース大会実行委員会や関係機関と協議する。



宮古の夏の風物詩「海の日」宮古港カッターレース



落合久三議員 日本共産党



建設業で働く人



白石雅一議員 みやこ未来推進クラブ

### 「森・川・海」のバランスのとれた関係規模展開を

自然環境を最大限に活かした施策の推進を図ってまいります

### ▼「森・川・海」と人の共生の着実な展開について

総合計画の着実な推進「森・川・海」と人が調和し共生する安らぎのまち」を実現するため、「森・川・海」の環境を守る事を基本として、これらを生かしたまちづくりを進めていくとある。そこで、「森・川・海」の展開の一つとして、新里に森の駅、川井に川の駅、そして海の駅としたような、バランスのとれた関係規模展開を、既存のものを活かしつつ展開してはどうか。

これは着実な推進であり、3つの基本方針の全てを助けるもので、今後の新たな宮古市の展開に繋がるものとなる。他地域ではできず、「森・川・海」の要素がバランスよく入った本市だからできる事で、人の交流、経済、観光をも巻き込み、他分野にも波及させる事ができると考えるがいかがか。



森・川・海の宮古市

本市は、季節に応じたイベントを、行政と地域、民間事業者が連携して「森・川・海」の地域資源を活かした取り組みを展開している。また、地域資源が多様な学びの場としても活用されている。今後も、地域の皆様や関係団体のご意見を伺いながら、本市ならではの自然環境を最大限に活かした施策の推進を図っていく。

### 本市の経営方針の中で、重要な諸事業の課題は

多様な産業と連携が必要

「森・川・海」は本市の豊かな自然を表す言葉でもあり、「三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイル」に磨きをかけると述べたが、具体的な施策が不明と感じる。

体験プログラムが実施されトレイルのハイカー増加等、一定の成果と評価している。自然環境維持だけでなく多様な産業と連携、経済効果を高める仕組みの構築が必要と認識。地域のもをを生かし、付加価値を高めるため、磨きを引用している。

### ▼賑わいのある中心市街地の形成へ

「賑わいのある中心市街地」の形成は地域脱炭素の実現と地域内経済循環の拡大を約束している。旧キヤトル跡地は、宮古駅前エリア再整備事業として駐車場計画（たき台）が示された。昔、中心市街地に人が集い、回遊性が生まれていた点では、商業施設と県立宮古病院の存在がポイントだった。市長の認識は。

エリアは本市の中心部で、鉄道やバスなど公共交通が集まる交通結節点である。商業、医療施設は「立地適正化計画」で生活に必要な「都市機能誘導区域」に設定。たき台をもとに市民の意見を聞き、賑わいの創出につながる環境づくりを進めたい。商業、医療施設に関する意見は検討の参考とする。

### ▼地域脱炭素の実現を

「地域脱炭素」の実現と地域内経済循環の拡大では、到達点及び「夜間連携太陽光発電所」の位置づけと役割を伺う。

令和12年度までに年5億5500万円の域外流出抑制が目標。発電所の商業運転に伴い年1億円ほどのエネルギー代金の流出抑制が見込まれ、地域内経済循環の役割を果たしている。18の公共施設に当該発電所の環境価値を付帯したCO2フリー電力が供給され、エリア内の公共施設の総使用電力に係る約9割の脱炭素化が図られる。



ジオパーク散策者にはクルーズ船の乗客も（日出島）



水木高志議員 みやこ未来推進クラブ



田中尚議員 日本共産党

# 羅針盤表紙「かだつとがんせ」～市民の声～



## 「かだつとがんせ」で市民の声を発信

### 市民が望むまちづくりとは

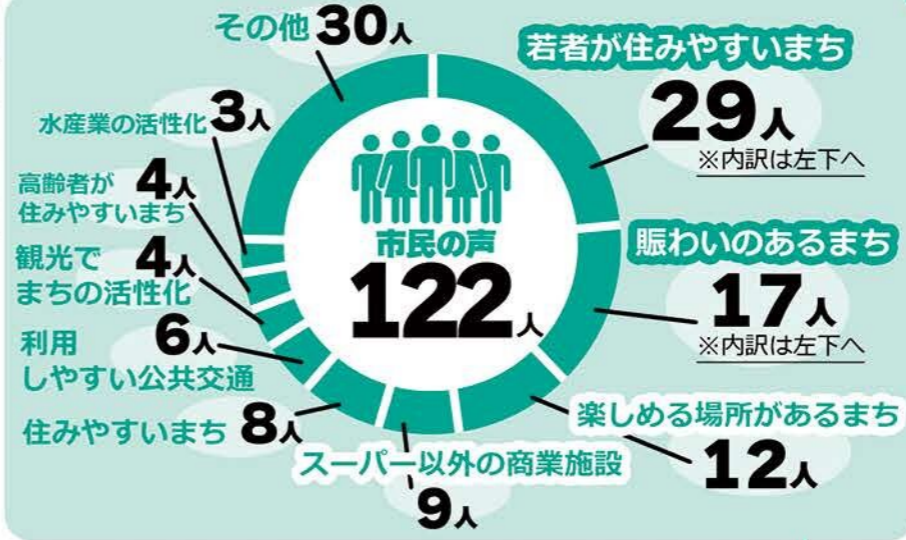
「かだつとがんせ」で市民から得た意見では、左のグラフにあるように「若者に対するまちづくり」と「賑わいを求めるまちづくり」の声が目立ちました。人口が減少している本市において、市民の声を聴き、施策を減らし、今後の施策の方向性に期待したいと思えます。

### 市民の声を届けたという思い

令和5年6月定例会議の議会広報から始まった羅針盤表紙の「かだつとがんせ」は本市に住む市民の声は本当に行政に届いているのか? 学生や子育て世代の市民、事業者、一人暮らしの高齢者など、市民の本当に望むものはあるのではないかと、の思いから、広報で様々な世代の方の声を受け取り、多くの市民が望んでいる宮古市はどのようなものか? と考え、羅針盤の表紙に掲載を行うことになりました。

### 「かだつとがんせ」での成果

「かだつとがんせ」が始まり、学生から高齢者、事業者、勤め人、子育て世代、男女問わず様々な方の意見を聞き掲載するに至りました。宮古市に住み、生活する方の様々な目線で見えてくる「生活する上で不便に感じる一面」、「今後に期待を持つて変化してほしい部分」、「また、「既存のまちづくりの素晴らしいところ」など多様な立場と目線での意見を頂き、今からの本市のまちづくりで求められているのはどのようなものか? 市民は何を望んでいるのか? が見える化できました。「かだつとがんせ」で頂いた市民の意見をしっかりと捉え、今後も行政の施策方針や、市政運営に反映できるようにしていきます。

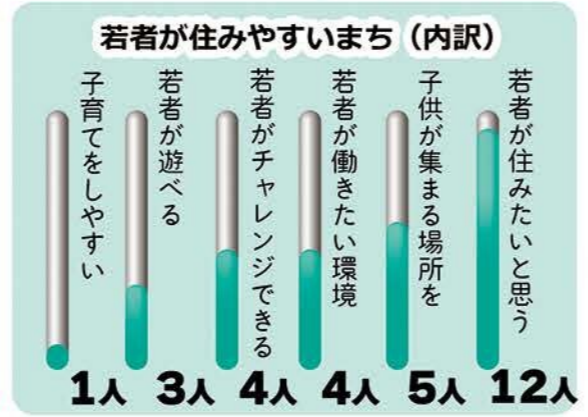


### 若者に対してのまち

「若者に対するまちづくり」と「賑わいを求めるまちづくり」の声が目立ちました。人口が減少している本市において、市民の声を聴き、施策を減らし、今後の施策の方向性に期待したいと思えます。

### 賑わいのあるまち

2番目に市民の声で多かったのは「賑わいのあるまち」です。近年、経済の悪化、低迷により市内企業の倒産、廃業も多く見受けられます。市内でも本市の経済状況の悪化を受けている現状にあり、多くの市民から不安を感じる声があがりました。賑わいを求める手法は様々な角度から求められ、声に寄り添った施策の実施が求められます。



### ご協力への感謝と今後のお願い

令和5年からおよそ3年間、議会広報「羅針盤」の表紙を市民の声で飾り、ご協力頂きました市民の方々へ深く感謝の意を表します。本市に住む市民の方々にとって本当に住みやすく、未来のあるまちづくりに参りたいと思えます。

「かだつとがんせ」に掲載する市民の声は多様な世代が実感し、本市に対して期待、望むべき姿を表すものとなります。市民の一人ひとりの思いが本市の中で実現、実行されるよう今後とも議会広報の取材に対し、快くご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 市へ政策提言を提出しました

## 教育民生常任委員会は「子育て環境の充実について」の政策提言書を提出しました。



【令和8年2月27日、橋本議長、竹花副議長、産業建設常任委員会委員が出席し、中村市長へ政策提言書を手渡しました。提言書は、教育民生常任委員会が調査・研究し、市内の子育て世代や保育・教育現場で働く方々の意見交換を踏まえ、県外の先進事例の視察を基に次の3点について提言しました。

※提言の詳細な内容については、宮古市のホームページ「宮古市議会の活動」議会の提言等をご覧ください。

**Check!** **子育て提言1**

**デジタル技術を活用**

し、開庁時間に左右されない、相談・情報提供体制を整えないでも迷わず利用できる環境を構築し、充実させること。

**Check!** **子育て提言2**

**母子健康手帳アプリ**

のようなデジタルツールを導入活用し、子育てに関する各種手続きが円滑に行える仕組みを構築するとともに、要支援家庭を早期に把握し、適切な支援につなげる体制を整備すること。

**Check!** **子育て提言3**

**地域全体で子育てを支える姿勢**

を可視化し、「子育て世帯が応援されている」と実感できる子育て支援の推進に取り組むこと。

# 産業建設常任委員会は「水産業について」の政策提言書を提出しました。



令和8年3月27日、橋本議長、竹花副議長、産業建設常任委員会の西村委員長、落合副委員長が出席し、中村市長へ政策提言書を手渡しました。提言書は、産業建設常任委員会が調査・研究し、市内の水産加工業者との意見交換を踏まえ、県外の先進事例の視察を基に次の5点について提言しました。

**水産提言1**

**冷凍保管機能の強化と巻き網船受け入れ環境の整備**

宮古港周辺における大規模冷凍保管施設の整備又は立地促進を図ること。  
他2項目

**水産提言2**

**重要水産養殖品目の設定と支援制度の重点化**

本市の水産振興において重点的に育成すべき魚種を「重要水産養殖品目」として位置づけること。  
他4項目

**水産提言3**

**冷凍・物流・販路を一体化とした支援の推進**

冷凍保管、荷捌き、共同配送を組み合わせた「冷凍・加工・物流拠点」構想を具体化すること。  
他2項目

**水産提言4**

**人材確保と外国人労働者受け入れ支援の強化**

外国人労働者を受け入れる事業者に対し、監理団体委託費、申請費、渡航費、住宅確保費、日本語教育費等の初期費用を補助する制度を創設すること。  
他2項目

**水産提言5**

**ブランド化と販路拡大の推進**

宮古トラウトサーモンをはじめとする重点水産養殖品目及び宮古産水産物のブランド化を推進すること。  
他2項目

# 議会モニター募集!

## あなた～市民の視点を市議会運営に!～

議会モニター制度とは、会議の傍聴やホームページの閲覧などを行い、感想・意見・提言を議会に提出していただく「モニター」を、市民の方々に委嘱する制度です。

- 資格 市議会の運営に関心があり、市内に住所を有する満16歳以上の方。  
※ただし、国もしくは地方公共団体の議員である者を除きます。
- 職務 次の①～③を行い、その経験に基づく意見・感想・提案を、モニター会議に出席して述べていただくことが主な職務です。  
①本会議及び委員会等の傍聴  
②みやこ市議会だよりの閲覧  
③ホームページ等の閲覧
- 任期 令和8年6月～令和9年3月末日（約1年間の任期です）  
※再任は1回までとなります。
- 定員 20人（選考ののち委嘱）  
※応募人数が5人以下である場合は、モニターの委嘱は行いません。
- 謝礼 モニター会議に出席いただくごとに、予算の範囲内で謝礼を支給します。

- 応募方法  
①申込様式を使用する場合、事務局配布の用紙か、ホームページ掲載の様式に必要事項を記入し、持参、郵送、FAX、メールのいずれかでご提出ください。  
②LOGOフォームを使用する場合、右のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取り、必要事項を入力して送信してください。

○募集期間 令和8年5月15日（金）まで  
○問合せ先 宮古市議会事務局 宮古市宮町一丁目1番30号  
TEL 68-9113 FAX 63-9117 メールgikai@city.miyako.iwate.jp



# 応募要項



## 16歳以上の市民なら誰でも参加できます!

## 編集後記



編集委員 畠山 智章

令和7年度の最終3月定例会議も終わりを迎えて、今年度も宮古市議会が誕生しました。この4年間、市議会広報編集委員も表紙の変更や、中身の見やすさの変更など新しい風を生み出すような改革が行われ、市民にとって見やすく理解しやすい広報に変化しています。

昨今の日本各地の経済情勢も不安定なように、宮古市内も景気の低迷により苦しい現状となつています。

今年度からは、行政から中身の経済対策を行い、観光業の活性化、一次産業の活性化をはじめとし、各企業の努力が身を結ぶまちになれるよう願っています。

昨年より今年、今年より来年と変化が出て改善し続け住みやすいまちづくりを目指し邁進します。

## 羅針盤

- 議会広報編集委員会  
委員長 今村 正  
副委員長 畠山 智章  
編集委員 古舘 博  
木村 直  
小島 誠  
鳥居 晋

# みんなの ラウンジ



## みやごはん 宮GO飯キャンペーン

飲食店利用助成事業（宮GO飯キャンペーン）が本年2月、3月の間実施されました。末広町の「割烹おかめ」の女将の宇都宮松枝さんと、大通四丁目の「寿司と肴うちだて」のご主人の内舘義幸さんに、事業の成果などについて伺ってきました。

割烹おかめ若女将の  
宇都宮妙子さん

### 割烹おかめ

「迷わずに事業に申し込み  
されましたか？」

女将 例年2、3月は客足が落ちるので前向きに申請できました。

「実際にやってみて  
いかがでしたか？」

女将 忙しい時間帯に慣れるまで大変でしたが、お客様が携帯電話で申し込んでくるので、振り返れば便利さの方が勝っていましたね。  
順調に進んでいた3月初めに予算に達成すれば事業は終わると連絡があったものの、現在まで続いていて助かっています。

「特筆すべきいいことなどありましたか？」

女将 宣伝効果により新しいお客様が増えました。「ズワイガニづくし」という高めのメニューも増やし好調でした。また、プレミアム商品券事業も重なってダブル効果でした。

「事業にただ乗っかるだけではなく工夫が功を奏したのですね。これからは？」

女将 来年の閑散期も是非事業実施を希望します。家族みんなで努力して頑張ります。

※取材日は令和8年3月24日

令和8年4月30日第84号 発行：宮古市議会  
〒027-8501 若手県宮古市宮町1丁目1番30号  
電話／0193-62-2111

### 寿司と肴 うちだて

「キャンペーンの事業開始はいかがでしたか？」

主人 「広報みやこ」での周知に対応して説明会に足を運びました。一度きりの説明会ではよく理解できませんでしたが結果は良好でした。事務的な作業は妻が難しくやり遂げたので良かったです。

「他に何かご要望はありますか？」

主人 みちのく潮風トレイルのハイカーたちが夜に来店してくれるのが嬉しいですね。交流人口がもっと増えるように行政には頑張ってください。

※取材日は令和8年4月8日

編集：議会広報編集委員会  
印刷：三浦よしおデザイン事務所



「この次も期待しますか？」

主人 寿司屋では家族で食事に来てほしいと思ってるので、次回には広く周知して多くの市民が楽しめるようにチャンスを活かしたいと思っています。是非来年も企画してほしいです。